

単元名 Unit 3 Animals on the Red List

配当時間 11時間

- 単元の目標 (1) It is … for + (人など) + to + 動詞の原形, want + (人など) + to + 動詞の原形, let [help] + (人など) + 動詞の原形の形・意味・用法を理解することができる。そしてその理解を基に、相手の伝えたいことを理解したり、自分の伝えたいことを表現したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 簡単な語句や文を用いて、自分のことを伝えたり、相手のことを知るために尋ねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、教科書本文の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて話したりすることができる。
- (3) It is … for + (人など) + to + 動詞の原形, want + (人など) + to + 動詞の原形, let [help] + (人など) + 動詞の原形を用いて、自分の考えを書いたり、話したり、伝えたりしようとする。また、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて伝えたりしようとする。

標準的な展開例

12250105_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Scene1 It is … for + (人など) + to + 動詞の原形について学習する。</p> <p>★自分にとって大切なことやおもしろいことを英語で表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit3の表紙の絵について質疑応答をする。 ○Previewを聞き、分かったことをペアで伝え合う。 ○コラムを読む。 ○It is … for + (人など) + to + 動詞の原形の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practice1に取り組む。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>2 Scene2 want + (人など) + to + 動詞の原形について学習する。</p> <p>★自分が相手にしてほしいことを英語で表現しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○want + (人など) + to + 動詞の原形の形・意味・用法を知る。 ○基本表現の学習をする。 ○Practice1に取り組む。 ○本文の学習をする。 ○オーラルイントロダクションを行う。 ○新出語句を確認する。 ○音読練習をする。 <p>3 Mini Activity Scene1とScene2で学習した文法を使った活動に取り組む。</p> <p>★人にしてもらいたいことを伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Mini Activityに取り組む。 ○Listenに取り組む。 ○Speak & Writeに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後学習する内容について関心をもたせる。 ・ペアで伝え合うことでIt is … for + (人など) + to + 動詞の原形の用法やwant + (人など) + to + 動詞の原形の形・意味・用法に気付かせる。 ・世界中で既に絶滅した動物や絶滅の危機にある動物がいることを確認する。 ・視覚教材を映しながら“It is interesting for me to study English.”のような文を繰り返し聞かせて導入をする。 ・何度も読むことで語順を理解させる。 ・基本表現の定着を図る。 【評】 It is … for + (人など) + to + 動詞の原形を用いて、互いに自分のことを伝え合う活動や相手に質問したり、答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。 ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。 ・視覚教材を映しながら、“I want the Dragons to win the game.”のような文を繰り返し聞かせて導入をする。 ・人の部分に代名詞を置くときは目的格がくることを確認する。 ・基本表現の定着を図る。 【評】 want + (人など) + to + 動詞の原形を用いて、互いに自分のことを伝え合う活動や相手に質問したり、答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。 ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。 ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。 ・Scene1とScene2で学習した内容を事前に復習した後に活動をさせる。 ・聞き取りのポイントを押さえ取り組ませる。 ・質問を作る際はTool Boxを参考にさせる。

- 作成した英文を発表する。
- 振り返り活動を行う。

4 Read and Think1(1) let [help] + (人など) + 動詞の原形について学習する。

- ★自分が相手の何をするを手伝うことができるか英語で表現しよう。
- let [help] + (人など) + 動詞の原形の形・意味・用法を知る。
- 基本表現の学習をする。
- Practiceに取り組む。

5 Read and Think1(2) 日本のトキについて書かれた記事を読んで、その内容を読み取る。

- ★トキと人間との関りと絶滅した理由を読み取ろう。
- 本文の学習をする。
- オーラルイントロダクションを行う。
- 新出語句を確認する。
- 音読練習をする。
- Roundに取り組む。

6 Read and Think2(1) コンゴ民主共和国のゴリラについて書かれた文を読んで、その内容を読み取る。

- ★ゴリラが絶滅の危機に瀕している理由を読み取ろう。
- 本文の学習をする。
- オーラルイントロダクションを行う。
- 新出語句を確認する。
- 音読練習をする。
- Roundに取り組む。

7 Read and Think2(2) コンゴ民主共和国のゴリラについて書かれた文を読んで、実際にできることを英語で書く。

- ★絶滅に瀕した動物のために、何ができるかを英語で書こう。
- 本文の内容を復習する。
- 自分の意見を英語で書く。
- ペアやグループで発表する。

【評】学習した文法事項を用いて、相手の得意なことについて相手に尋ねたり、相手からの質問に答えたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】人にしてもらいたいことを書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・発表者の英文にコメントを返すことで、即興のやりとりをさせる。
- ・ワークシートへ記入させ、取組の振り返りをさせる。

【評】振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・視覚教材を映しながら、“I helped my mother cook dinner.”のような文を繰り返し聞かせて導入をする。

- ・語順で人の後には動詞の原形を置くことを強調する。
- ・基本表現の定着を図る。

【評】let [help] + (人など) + 動詞の原形を用いて、互いに自分のことを伝え合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

- ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
- ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。
- ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
- ・問題の答えや書いた英文をペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Roundでの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・視覚教材を用いて、話の内容を理解しやすくさせる。

- ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。
- ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。
- ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。
- ・問題の答えや書いた英文をペアで伝え合うことで、表現する力や相手の言ったことを理解する力を高めさせる。

【評】本文や各Roundでの活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】本文や各Roundでの活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・私たちの生活が動物の絶滅の危機に影響を与えていることを確認させる。

- ・タブレットを使い、トキやゴリラ以外の動物について調べ、調べたことから意見を書かせてもよい。
- ・簡単な単語や表現を使うことで、聞き手が理解しやすい意見を作成することを確認する。

<p>○意見について議論をする。</p> <p>○振り返り活動を行う。</p> <p>8 Unit Activity 学習したことを生かして絶滅の危機に瀕している日本の動物についての記事を書く活動に取り組む。 ★絶滅の危機に瀕している動物を世界へ伝えよう。 ○STEP1に取り組む。</p> <p>○STEP2に取り組む。</p> <p>○STEP3に取り組む。 ○自分の考えを記事に加える。</p> <p>○書いた記事をグループで読み合う。</p> <p>○全体発表をする。</p> <p>○振り返り活動を行う。</p> <p>9 Let's Write2 理由や根拠を含んだ英語での意見の書き方を学習する。 ★記事への意見を書こう。 ○STEP1でモデル文の内容を確認し、構成を理解する。 ○オーラルイントロダクションを行う。</p> <p>○新出語句を確認する。</p> <p>○音読練習をする。</p> <p>○STEP2に取り組む。 ○賛成か反対かを決める。 ○理由を考える。</p> <p>○STEP3で投稿文を書く。 ○理由や根拠を含んだ意見文を書く。</p> <p>○例を読んで、修正する。</p> <p>○グループで、互いに作った意見文を読み合い、コメントする。 ○振り返り活動を行う。</p> <p>10 Grammar for Communication2 不定詞を復習する。 学び方コーナー2 文章の組み立て方を学習する ★不定詞を復習し、論理的な文章の構成を知ろう。 ○Useに取り組む。 ○Formに取り組む。</p> <p>○p46 Let's Try!に取り組む。</p>	<p>・英語で感想を言わせることで表現する力を高めさせる。 ・友達の見解について簡単なやりとりをさせることで、聞く力と伝える力を高めさせる。 【評】意見を書く活動を通して「知識・技能」を評価する。 【評】意見を書く活動及び発表の活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。 【評】振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・前時に調べた動物が日本の動物ならば、それでもよいことを伝える。 ・トキの記事を教師が映像を使って説明することで記事の書き方を理解させる。 ・書いた記事をペアで確認し合うことで、学習事項への理解を深めさせる。</p> <p>・書いた記事をペアで確認し合うことで、学習事項への理解を深めさせる。 【評】書く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・英語で感想を言わせることで表現する力を高めさせる。 ・記事を電子黒板に映して発表させることで、情報を全員で共有する。 ・ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。 【評】書いた記事や振り返り活動への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・映像を使って導入することで、生徒の関心を高める。 ・電子黒板やタブレット等を用いて、テンポよく行う。 ・何度も音読することで、文の構造や内容を理解させる。</p> <p>・自分の立場で考えさせる。 ・教科書例以外の理由も書かせることで、表現力を高めさせる。</p> <p>・教師が意見文の構成例を示すことで、構成について理解させる。 ・ペアで相互チェックさせることで、学習事項への理解を深めさせる。 【評】意見文を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】意見文を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・意見文の内容や表現の工夫について、生徒同士で相互評価をさせる。 ・ワークシートへ記入させることで取組の振り返りをさせる。 【評】意見文や振り返り活動への取組を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <p>・どの場面で使う表現かについて確認させる。 ・目的語の後にto不定詞がくるか原形不定詞がくるかを確認させる。 ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 【評】問題への取組を通して、「知識・技能」</p>
--	--

<p>o p47文章の組み立て方を確認する。</p> <p>o Let's Tryに取り組む。</p> <p>11 単元のまとめ 単元テストに取り組む。</p> <p>★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。</p> <p>o 単元テストに取り組む。</p> <p>o Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<p>を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が電子黒板を使って説明することで、生徒の理解につなげる。 ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 <p>【評】パラグラフを正しい構成にする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、It is … for + (人など) + to + 動詞の原形, want + (人など) + to + 動詞の原形, let [help] + (人など) + 動詞の原形の用法についての「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】単元テストを通して、It is… for + (人など) + to + 動詞の原形, want + (人など) + to + 動詞の原形, let [help] + (人など) + 動詞の原形を活用させ、「思考・判断・表現」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】
授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。